報道関係各位

2023 年 2 月 28 日（火）

結果報告

「地域の原石」を全国・世界レベルのヒット商品に育てる にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ 2022-2023 において 群馬利根沼田の事業者が活躍

▲「群馬利根沼田」地域紹介の様子

去る 2023 年 2 月 23 日（木）から 2 月 24 日（金）に開催された「にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ 2022-2023」［主催：にっぽんの宝物 JAPAN 事務局〔株式会社にっぽんの宝物内（所在地：東京都港区、代表取締役：羽根拓也）〕］において、群馬利根沼田から同グランプリにエントリーした「蒟蒻とお米の餅っとぷにんわび」（株式会社北毛久呂保、株式会社雪ほたか）が、23 日に開催された「新和素材スイーツ部門」でグランプリを受賞、シンガポールで夏に開催予定の世界大会へのエントリー権を得ました。さらに 24 日に開催された「グランドグランプリ」において、接戦の中、第３位を受賞しました。

また、「工芸・雑貨部門」に出場した「Art Puzzle Cell」（光工芸有限会社）は特別賞（クリエイティビティ賞）を受賞、「Visit JAPAN Food & Environment 部門」に出場した「ワイナリーキャンプ プレミアム」（奥利根ワイン株式会社、株式会社あかぎチキン、飲水思源）は特別賞（地域活性化賞）を受賞しました。

■ **「にっぽんの宝物」プロジェクトとは？**

日本の地方には良いものがある。しかしこれまでのやり方では売れず、廃業に至るケースが多い。そこで 2009 年より、自治体、地元金融機関らと力をあわせ、商品の開発、販売支援を行う全国的なネットワークを構築。

あえて異業種（1～３次産業）人材を集め、「アクティブラーニング」と「コラボレーション」をキーワードに、自社商品のブラッシュアップセミナーを実施。

その成果発表として、地方大会、全国大会、世界大会（シンガポール）でさらなる商品選抜を行い、2009 年の開始以来、売上が 100 倍になった事業者などを輩出。全国に開催地域が拡大中。

● **「にっぽんの宝物」プロジェクトーコアメッセージ（公式ページより転用）**

日本には素晴らしいものがある。

しかし、守り続けてきた人類の知恵や文化が、時代の変化とともに失われようとしています。

「事業継承したが、業界が先細りだ」「昔ながらの方法でこだわって作っているが、売り方がわからない」「この地域を守るために何かしたいが、一人ではできない」

にっぽんの宝物プロジェクトは、地方に眠る宝物・宝人を「学ぶ機会」と「チャレンジする機会」を通して磨き上げ、全国レベル・世界レベルで活躍できる人材と商品に育てます。

「見えていない強みや魅力をみんなで掘り起こそう」「時代の流れに合わせて、新しい可能性にチャレンジしてみよう」「ひとりで無理なら協力してみよう」

これまでの枠を越えた、オープンイノベーションを生み出すファシリテーションを通じて、時代に合った商品が次々と誕生し、各界のプロたちによって、全国レベル・世界レベルで評価されています。

商品の完成度はもちろん、志をもって作り上げる「人」や「ストーリー」も評価対象。

応援したくなる「にっぽんの宝物」が続々と増えています。

「今度は一緒にこんなことをしよう」

参加する事業者は、地域を超えて志を同じくする全国の仲間とともに、自ら考え、行動するモードに自動的に入っていきます。

にっぽんの宝物プロジェクトを通じて、これまでになかった、地域を盛り上げる新しい渦が生まれています。

にっぽんの宝物は、答えのない世界に自ら答えを作り出し他者と協力することで新しい力を生み出す「オールジャパンのプラットフォーム」です。

※ 「にっぽんの宝物」プロジェクトについて、詳細は公式ページ（https://www.undiscovered.jp/whats）をご覧ください。

■ **「にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ」について**

▲「にっぽんの宝物 JAPAN GRAND PRIX」ポスター

2022 年度は、地方セミナーに 1,252 社・1,353 人（暫定・延数）が参加し、地方大会（16 エリア）を勝ち上がってきた 81 社・555 組 が JAPAN グランプリで競い合った。

食を中心に、一昨年からコロナ禍で戦う観光商材の参加も急増。グランプリでは、全国有名企業社長、有名シェフ、有名店バイヤー、インフルエンサーなどが集まり、日本の宝物にふさわしい商品を「品質評価」と「人物評価」の二軸で審査。

部門は全 11 部門で、2 日目の 24 日（金）には、全部門のグランプリ受賞者を集め、異業種で戦う「グランドグランプリ」を実施。今年度の日本一が決まった。

上位受賞商品は、すぐに EC サイトや有名店での販売につながり、1 日で無名の事業者がスター事業者に生まれ変わる。

■ **開催概要**

イベント名：	にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ 2022-2023
開催日時・内容：	2022 年 2 月 23 日（木）10:30～20:30 ＜部門審査＞ 全 11 部門 ・ 第 1 会場：コミュニティ部門、肉・海産物調理/加工部門、Visit JAPAN Food, Drink＆Experience 部門、新体験スイーツ部門 ・ 第 2 会場：最強素材＆加工部門、調味料部門、新和素材スイーツ部門、工芸・雑貨部門 ・ 第 3 会場：ドリンク部門、Visit JAPAN Food＆Environment 部門、ヘルシー部門 2022 年 2 月 24 日（金）12:00～10:00 ＜グランドグランプリ＞ ・ 全ての部門グランプリ受賞者が最後に集い、日本一を決定
会　　場：	＜第 1 会場・第 2 会場＞ BASE Q 内 Q HALL （〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1 丁目 1－2 東京ミッドタウン日比谷 6F） ＜第 3 会場＞ Have a Nice TOKYO! 内 POP UP ZONE （〒100-005 東京都千代田区丸の内 2 丁目 5 - 2 三菱ビル 1F） ・ 部門審査は、Q HALL 内で第 1 会場と第 2 会場、POP UP ZONE 内で第 3 会場に分けて実施 ・ グランドグランプリは、Q HALL を転換して 1 会場にして実施
主　　催：	にっぽんの宝物 JAPAN 事務局（株式会社にっぽんの宝物内）
会社概要：	商号／株式会社にっぽんの宝物 代表者／代表取締役 羽根拓也 所在地／〒105-0013 東京都港区浜松町 2-2-15 浜松町ダイヤビル 2F 事業内容／にっぽんの宝物に関する経営・運営

■ **「群馬利根沼田の宝物」について**

▲「群馬利根沼田」地方大会時の集合写真

一般社団法人沼田青年会議所は、「にっぽんの宝物」プロジェクトの一環として「群馬利根沼田の宝物」を開催。2022 年 8 月 22 日（月）にテラス沼田 Waltz ホールで開催したキックオフセミナーには、約 30 事業者等 50 名が参加した。

計 4 回の地方セミナー及び全国各地のエリアでの参加事業者がオンラインで参加する特別回 1 回の計 5 回のセミナーを経て、セミナーをきっかけに生まれたコラボレーション商品 3 商品を含む、7 商品 9 事業者が地方大会に参加。

審査の結果「蒟蒻とお米のスィーツ わび」（株式会社北毛久呂保、株式会社雪ほたか）がグランプリを受賞、また「土田酒造 研究醸造 25」（土田酒造株式会社）、及びワイナリーキャンプ プレミアム（奥利根ワイン株式会社、株式会社あかぎチキン、飲水思源）が準グランプリ、「Art Puzzle Cell」（光工芸有限会社）、及び「1 日に必要な食物繊維が入った麺」（雪国アグリ株式会社）が審査員特別賞を受賞した。

※ 地方大会のグランプリ、準グランプリについては、「にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ 2022-2023」への出場権が与えられるが、準グランプリの 1 者がエントリーを辞退したことから、審査員特別賞受賞者のうち 1 者が繰り上げで参加資格を得て、群馬利根沼田からは次項の 3 者が参加。

■ **群馬利根沼田からのエントリーについて**

商　品　名　：	蒟蒻とお米の餅っとぷにん　わび
商品写真：	
開発事業者：	株式会社北毛久呂保（昭和村）、株式会社雪ほたか（川場村）
商品概要：	蒟蒻とお米で作った新スイーツ ・　皇室献上米にも選ばれる【幻のコシヒカリ　雪ほたか】の米粉を贅沢に使い、群馬の蒟蒻職人が新時代のスイーツ開発に挑みました。
出場部門：	新和素材スイーツ部門
結　　果　：	〈部門審査〉 グランプリ／〈グランドグランプリ〉 第 3 位

商　品　名　：	Art Puzzle Cell
商品写真：	
開発事業者：	光工芸有限会社（沼田市）
商品概要：	段ボール製立体アートパズル ・　組み合わせ方で様々な形を作り出せます。楽しく遊び学んでください、自分だけの新しい法則が発見出来ます。
出場部門：	工芸・雑貨部門
結　　果　：	〈部門審査〉 特別賞（クリエイティビティ賞）

商　品　名　：	ワイナリーキャンプ　プレミアム
商品写真：	
開発事業者：	奥利根ワイン株式会社（昭和村）、株式会社あかぎチキン（昭和村） 飲水思源（みなかみ町）
商品概要：	ワイナリーを楽しむ特別キャンプ ・　造り手自ら案内するワイナリーツアー、丸鳥をワインで蒸し焼きにするワインチキン、ホットワインをセットにしたプレミアムプラン。
出場部門：	Visit JAPAN Food & Environment 部門
結　　果　：	〈部門審査〉 特別賞（地域活性化賞）

■ **グランドグランプリ審査員（敬称略）**

高野 真：リンクタイズ株式会社 代表取締役 CEO 兼 Forbes JAPAN Founder
國光宏尚：株式会社フィナンシェ 代表取締役社長
中島信也：株式会社東北新社 代表取締役社長
秋山咲恵：株式会社サキコーポレーション ファウンダー
安宅和人：慶應義塾大学 環境情報学部 教授
林 裕子：山口大学大学院技術経営研究科 教授（外務大臣夫人）
山田チカラ：株式会社山田チカラ 代表取締役、オーナーシェフ
菊池昌枝：株式会社星野リゾート・アセットマネジメント チーフ・サステナビリティ・オフィサー
福武 英明：株式会社ベネッセホールディングス 取締役
間 光男：フレンチレストラン TERAKOYA オーナーシェフ
堺井啓公：公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 広報戦略局長

■ **主なコメント**

▲一般社団法人沼田青年会議所 第 50 代 理事長（前理事長） 為野大地 氏による地域紹介の様子

概 要 ：	群馬利根沼田の宝物（地方大会）主催者によるコメント
発言者：	一般社団法人沼田青年会議所 第 50 代 理事長（前理事長） 為野大地 氏
コメント：	（群馬利根沼田の地方大会は）沼田青年会議所で主催しました。主催には、費用含めさまざまな壁がありましたが、仲間とともに、そして行政の方、地域の方が協力してこの全国大会まで来ることができました。本日全国大会に出場する事業者の皆さんは、利根沼田地域の思いの集結です。利根沼田地域全体として事業者の皆さんを応援したいと思います。利根沼田地域がんばれ。

▲新和素材スイーツ部門　グランプリ受賞時の様子

概　要　：	新和素材スイーツ部門グランプリ　審査員コメント
発言者：	審査員代表　畑田康二郎　氏 （将来宇宙輸送システム株式会社　代表取締役社長）
コメント：	にっぽんの宝物は、もちろん商品力も重要ですが、そこに至るプロセスがあり、どういう社会課題に立ち向かっていくのかということも重要です。（事業者の）コラボレーションを通じて（商品が）成長していく、これが完成形ではなく、もっとすごいことになっていくのではないかという期待値を込めての受賞だと考えていただければと思います。明日のグランドグランプリまで、まだ時間はあります。さらなる進化を期待しています。

概　要　：	新和素材スイーツ部門　グランプリ　受賞コメント
発言者：	株式会社北毛久呂保　狩野正充　氏
コメント：	利根沼田の歴史と風土が名産品と呼ばれるまでに育てた、こんにゃくとお米。この二つが掛け合わさることで新しい価値が生まれました。明日のグランプリでは、利根沼田の素晴らしさを少しでも伝えたいです。

概　要　：	新和素材スイーツ部門　グランプリ　受賞コメント
発言者：	株式会社雪ほたか　星野孝之　氏
コメント：	審査員のコメントにあった点を改善して、明日のグランドグランプリに臨みたいと思います。涙はそれまでとっておきます。

概　要　：	グランドグランプリ　第 3 位　受賞コメント
発 言 者 ：	株式会社北毛久呂保　狩野正充　氏
コメント：	群馬には上毛かるたと呼ばれるカルタがあります。そこには力合わせる 200 万という読み札があります。このわびは、まさに読み札通り、こんにゃくとお米、人と人が力を合わせ、全国でも認められる賞品になりました。大勢の人に助けていただきました。ありがとうございます。

概　要　：	にっぽんの宝物総合プロデューサー　羽根拓也　氏　Facebook 上でのコメント
発 言 者 ：	株式会社にっぽんの宝物　代表取締役　（にっぽんの宝物総合プロデューサー）羽根拓也　氏
コメント：	グランプリ一時間前の奇跡 宝物では、「ラストミラクル」という言葉がある。グランプリという強力なプレッシャーの中、最後の最後に知恵を絞り抜いた時、驚異的な成長が生まれるというものだ。 これまで多くの事業者がそうやって最後の奇跡を起こしてきた。今回もそんな話がシェアされた。 利根沼田のこんにゃくの事業者が、米農家と組んで新しいスイーツを開発した。 部門グランプリをとったが、審査員内では意見が分かれたという。よくぞこんにゃくをここまで仕上げたという意見と、まだまだ完成度が低いという意見だ。 結局、斜陽産業であるこんにゃく業界に希望を与えると、こんにゃく商品が部門グランプリを獲得した。 しかし、結果発表の時、ステージ上で審査員の畑田さんが残した言葉は、まだまだブラッシュアップの余地あり、特に、ソースなどの味の配分を明日のグランドグランプリまでに修正せよ、であった。 これはなかなか厳しい。一夜にしてできることは少ない。奥さんといっしょにいろいろ話し合ったが何も思いつかず。 翌朝、グランドグランプリのリハーサルの時、同じく、グランドグランプリに進むベトナム料理の事業者が隣にいた。1 時間後に始まる戦いを前に仲良くなった。 こんなことを審査員に言われたと語り、ソースを柔らかくして、なんかアジアっぽく、おいしくする方法はないだろうかと聞いてみた。 「アーモンドやココナッツミルクを入れると柔らかくなって美味しくなりますよ」とアドバイスを受けた。 どうせ、自分は初チャレンジの新人だ。胸を借りるつもりでこれを実態にやってみよう。そう考えた事業者さん、グランプリの直前に外に飛び出した。アーモンドとココナッツミルクのソースを探すためだ。 そしてグランドグランプリが始まった。 審査員である僕の前に、その商品が並べられた。一番美味しいと思ったのは、そのアーモンドが使われた、クリーミーで見事な味のソースだった。 審査員の多くがこのこんにゃく事業者に票を入れた。初出場にして見事、第三位の栄冠を勝ち取った。グランプリ 1 時間前の奇跡である。 その話がシェアされ、会場にどよめきが起きた。ベトナム料理の事業者は敵に塩を送ったことになる。 するとその事業者はこう言った。「それは行動力があったからこそだと思います。僕もそんなにすぐやってみるとは思ってもみませんでした」 その通りだと思う。イノベーションを起こすのは行動力だ。行動しなければ何も変わらない。 こう言うことを皆でシェアしあうので、宝物事業者の成長は止まらないのである。 夢のような組み合わせに、一同、心を奪われた。美味しかった。

■ **当日の動画**

部門審査（第２会場）：	https://www.youtube.com/watch?v=MTpUOeyCV4o
部門審査（第３会場）：	https://www.youtube.com/watch?v=MQeEja2C_no
グランドグランプリ：	https://www.youtube.com/watch?v=EPWHYnqES9M

■ **当日の動画の主な見所**

事業概要：	https://www.youtube.com/watch?v=dr3N36QBTLk	17:30～
地域紹介：	https://www.youtube.com/watch?v=dr3N36QBTLk	1:03:35～
「蒟蒻とお米の餅っとぷにん わび」部門審査時商品説明：	https://www.youtube.com/watch?v=MTpUOeyCV4o	5:38:44～
「蒟蒻とお米の餅っとぷにん わび」グランドグランプリ時商品説明：	https://www.youtube.com/watch?v=EPWHYnqES9M	4:34:28～
新和素材スイーツ部門グランプリ発表：	https://www.youtube.com/watch?v=MTpUOeyCV4o	9:04:50～
グランドグランプリ第３位発表：	https://www.youtube.com/watch?v=EPWHYnqES9M	6:01:25～
「Art Puzzle Cel」商品説明：	https://www.youtube.com/watch?v=MTpUOeyCV4o	7:00:17～
「ワイナリーキャンプ プレミアム」商品説明：	https://www.youtube.com/watch?v=MQeEja2C_no	2:06:36～

■ **お問い合わせ**

本件に関するご質問、各者へのインタビューのお申し出等、お気軽にご連絡ください。

沼田市役所 総務部 企画政策課 政策推進係 星野・小林
℡：0278-23-2111（内線 4033）Mail：kikaku@city.numata.lg.jp